

○ 調査問題

9

(1) 「集中」の対義語は

3 安心 1 困難 4 分散 2 退屈たいくつ

次の(1)・(2)の文では、()の中
の1〜4のどれが最も適切ですか。それ
ぞれ一つ選びなさい。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の趣旨】

- 対義語を理解する。

【問題の内容】

- 文中にあてはまる適切な対義語を選択する。

○ 誤答分析

解答類型	1	2	3	④正答	無解答
解答率	10.5%	51.1%	6.4%	31.5%	0.4%

- 正答率が31.5%と他の問題と比べて低い。誤答類型2（「退屈」）を選択した割合が全体の約半数を占める。
- 「集中」には、「一カ所に集める、集まる」という意味があるが、一つの事柄に注意して物事に取り組む「集中力」という語として捉えてしまったため、「分散」ではなく、「ある事柄に対して関心を失い飽きている様子」を指す「退屈」の方を選択した生徒が多かったのではないかと推測する。

○ 指導上のポイント

語彙指導のさらなる改善・充実に向けて

「小学校低学年の学力差の大きな背景に語彙の量と質の違いがある」と指摘されているように、語彙は、全ての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤となる言語能力を支える重要な要素となります。このため、語彙を豊かにする指導の改善・充実を図っていくことが求められてきます。

語彙を豊かにするための具体的な取組として大切なことは、ただ単に意味を理解している語句の数を増やすだけではなく、話や文章の中で使いこなせる語句を増やすとともに、語句の意味や使い方に対する認識を深め、語感を磨き、語彙の質を高めることです。

語彙の質を高めるための学習とは？

語彙の質を高めるためには、自分の考えや思いが、さらによく伝わるために言い換えられる言葉はあるか、周りの友だちの意見を共有しながら推敲する場面の設定が必要になってきます。



【「授業スタンダード」の視点】：「ペアやグループでの話し合い」で広がり深まる思考

学習活動例

例文の下線部の言葉を別の言葉に言い換えると、どのような違いが生まれるのか、その違いについて周りの友だちと共有しましょう。

【例文1】 昨日のことについて、どうしたらよいか考えてしまった。

(ア) 考えこんで (イ) 考えぬいて

【例文2】 母はきっと約束を守ってくれると思っている。

(ア) にちがいない (イ) かもしれない



○ 活用力育成シート、定着確認シート等の活用

【類義語】

3 次の言葉と似た意味の言葉を選んで、番号で答えなさい。

(1) 所有 【①要点 ②保持 ③有用 ④有効】

(2) 同感 【①共感 ②共有 ③同士 ④関係】

(3) 失望 【①希望 ②失意 ③失態 ④過失】

【出典】

「定着確認シート」

H22 小学6年 第3回